

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和5年2月16日

事業所名 チューリップ

保護者等数(児童数) 23 回収数 21 割合 91.3%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21				・室内の使い方が良く開放感あり	・有難いご意見ありがとうございます。 有効な室内活用を心がけてまいります
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	20	1			・先生みんな優しく大好きです ・十分すぎるほど、多く子どもたちに寄り添っている	・有難いご意見ありがとうございます。 適正な職員配置と、指導を徹底してまいります。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	20	1			・床の段差がないため、安全である	・設備はバリアフリー化できておりますが、危険な状態が発生しないよう確認をしてまいります
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	20	1			・きちんと両親の意見を聞いてすすめてくれている	・保護者様、利用者様のご意見をしっかりと聞き、ご意向に沿った計画が作成できるよう努めてまいります
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	18	3			・日々の様々な活動に感謝しています ・色んな体験を子どもが話してくれる	・プログラムが固定化しないよう、季節の行事や、外での活動を含め様々な活動ができるよう努めてまいります。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11	8	2		・地域交流が図れているから良いと思う	・コロナ禍で大人数での開催は困難となっておりますが、地域の方々との交流を行えるよう努めてまいります
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21				・2~3人程度で話したり個別相談にも対応してもらえる	・ご理解を深めていただけるよう、丁寧な説明に努めてまいります
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	19	1	1		・本人の「行かない」という態度に対しても、毎回迷惑をかけているが、快く承諾していただき、本人も親も気持ち的に負担が軽くなるまであります。 ・子どもの特性や様子をよく見て考えてくださり、感動、感謝しています。 ・定期的な連絡があり助かっている	・利用者様の気持ちをご理解いただけるよう、保護者様にも安心してご利用いただけるよう情報共有をしっかりと行い、共通理解に貢献できないよう努めてまいります
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	2	1		・学びをたくさんいただいています ・成長過程を観察し報告相談などしてくれる	・保護者様との時間が多くとれるよう努めてまいります。また、事業所はいつでも開放しておりますので、お気軽にお越しくださいませ
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	4	2		・前回行けていないです。 ・コミュニケーションを図る場を設けていただいている	・保護者会を開催することができ大変嬉しいと思っております。多くの皆様にご参加いただけるよう開催日時等を検討してまいります
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	3			・苦情は特になが、子供が助けを求めたとき、守って行動してくれる	・苦情等のご意見はいつでもどのような事でも、どのような形で結構ですので、是非お知らせください。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	21				・ラインや個別的に連絡してくれる	・利用者様、保護者様の状況に応じて、情報伝達方法を検討し、確実に伝えることができる環境整備に努めてまいります。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	2			・ブログをいつも楽しく読ませていただいています ・十分内容が理解できる	・毎月発行させていただいております。チューリップ便りをメインに、活動や予定をお伝えできるよう努めてまいります
	14 個人情報に十分注意しているか	21				・配慮していることが良く分かる	・個人情報の管理は法令を順守し徹底してまいります
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	16	4	1		・説明はできており、安全も確認している	・各種マニュアルを作成し、社員指導を行っております。保護者様への周知、説明も徹底してまいります
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19	1	1		・子どもが理解した行動プランが組み込まれている	・災害時のマニュアルを作成し、消防法に基づいた管理を徹底しております。また、避難訓練を実施し、有事の際に安定した行動ができるよう努めてまいります
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	20	1			・その日の気分などで行けない日もありますが、行けばチューリップでの活動を楽しそうに話してくれます。 ・毎日楽しく利用している	・利用者様に通所が楽しみしていただけるよう、利用者様に寄り添った対応を心掛けてまいります
	18 事業所の支援に満足しているか	21				・子どもの気持ちに寄り添い、励まし、興味を引き出して伸ばす声かけや行動をしてくださるので、子どもがいつもとても楽しく通っています。 ・想像以上のサポート、寄り添いをしていただき、親は感激、感動して励みももらい、子供は「チャレンジする勇氣」をもらいました。先生方には毎日感謝しています。チューリップに出会えて良かったです ・いつもありがとうございます ・満足している、できることが多くなり成長している	・有難いご意見を聞き恐縮しております。今後も現状に満足することなく、利用者様一人一人に寄り添い、楽しく通所できるよう努めてまいります。 また、保護者様が安心してお預けしていただけるよう、様々な活動を通じて、利用者様の色々な面を引き出し、細やかな支援ができるよう努めてまいります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年2月16日

事業所名 チューリップ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9			
	2	職員の配置数は適切である	9			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9		改善した所を始業前に個別で教えてくれているので、理解しやすいし、非常に助かっています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせさせて放課後等デイサービス計画を作成している	9			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9		一人ひとりの事を伝えてくれているので、気をつける所や、声かけをする所に気を配ることができる	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9			
18	定期的にもモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9				
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	9				
関係機関や保護者との	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	9			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	9			

連携 関係機関 や保護者 との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	9		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	9		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	9		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	9		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9		
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	9		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9		
	35	個人情報に十分注意している	9		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9		
非常時 等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	9		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9		